

鷹巣南小学校森林教室

令和元年11月11日（月）、鷹巣南小学校への出前授業という形で、5年生を対象に教室内において森林教室を行いました。社会科「わたしたちの生活と森林」や総合的な学習の時間の理解を深めることを目的として、学校からは①国有林、森林管理署の仕事、②木の使われ方、



（森林教室の様子）

③秋田の林産業と北秋田の林業など「職業としての林業と森林」について説明してほしいとのことで、郷土の木材製品や林業現場の画像を入れた資料を使い、会話形式で授業を進めていきました。

途中の質問・回答の主なものでは、○秋田県内で植林する木の種類は何が多いか→スギ、カラマツ、広葉樹 ○どうして森林管理署に入ったのか→自然を相手の仕事に魅力を感じた。また、林業学校からの流れで就職。 ○森林管理署の仕事のスケジュールは→



（会話形式で授業）

春夏の植付や下刈り、雪降るまで間伐や除伐作業など途切れなく林業の仕事がある、などの話があったところです。

今後とも、郷土の森林・林業に興味を持ってもらうよう森林教室等の地元要望に応えていきたいと考えています。